



## 敬老の日に「火の用心の贈り物」をしてみませんか？

近年の住宅火災による全国での死者数は、1,000人前後の高い数で推移しています。このうち約7割が65歳以上の高齢者であり、今後さらなる高齢化の進展に伴い、住宅火災における高齢者の死者数の増加が懸念されます。

このため、出雲市消防本部では、住宅火災における高齢者を中心とした死者数の低減を図るため、「敬老の日に「火の用心」の贈り物」をキャッチフレーズに、住宅用火災警報器、住宅用消火器、エアゾール式簡易消火具、防災品などを高齢者に贈ることなどを広く市民に呼びかける「住宅防火・防災キャンペーン」を実施します。

この機会に住宅用火災警報器や消火器などの設置を確認し、設置されていない場合は、「火の用心の贈り物」として高齢者の方に贈られてはいかがでしょうか？

今年の敬老の日は、感謝の気持ちと思いやりを住宅防火の面から見つめ直す日とし、愛するご家族に安全と安心をプレゼントしませんか！

【参考】総務省消防庁 HP 住宅用火災警報器の維持管理について

<https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/juukei.html>



# 住宅防火・防災 キャンペーン

キャンペーン期間

令和2年

9月1日(火)

~21日(月)



## 敬老の日に



# 「火の用心」の贈り物

住宅用  
火災警報器



すべての住宅に設置が必要な住宅用火災警報器。電池切れで万が一の時に作動しなかったということがないよう、定期的に作動確認することが大切です。

住宅火災による死者数と高齢者の割合



住宅用消火器



いざという時に備えて住宅用防災機器等(住宅用火災警報器・住宅用消火器・エアゾール式簡易消火具・防災品など)を身近に備えましょう。

防災品



身近な  
防火・防災  
プロジェクト

消防庁  
出雲市消防本部